

1 教科の到達目標（学習のねらい、身に付けたい力）

- 日本語によって書かれた文章等について、その内容を的確に理解する力。
- さまざまな場面に応じて、適切に表現する力。
- 言葉や伝統的な言語文化に興味をもち、理解を深めようとする態度。

2 年間学習計画と単元（内容）

学期	単元名	内容
1 学 期	【漢字（通年）】 【深まる学びへ】 【漢字】	○世界はうつくしいと（詩） ○握手（小説） ○漢字 ○説得力のある構成を考えよう ○学びて時に之を習ふ（漢文）
	【視野を広げて】	○作られた「物語」を超えて（評論） ○具体化・抽象化 ○論理の展開を意識して書こう ○熟語の読み方 ○漢字に親しもう ○書写
	【言葉とともに】	○俳句の可能性（俳句） ○俳句を味わう（俳句） ○言葉の釣り糸を垂らす ○和語・漢語・外来語 ○語彙を豊かに
2 学 期	【状況の中で】	○挨拶-原爆の写真によせて（詩） ○故郷（小説） ○〔推敲〕論理の展開を整える ○慣用句・ことわざ・故事成語 ○聞き上手になろう ○漢字の造語力
	【漢字】 【自らの考えを】	○複数の意見を読んで、考えよう ○考えを効果的に伝えよう ○漢字に親しもう ○「ない」の違いがわからない？ ○初恋（詩）
	【いにしえの心を受け継ぐ】	○和歌の世界 ○古今和歌集仮名序 ○君待つと ○夏草
	【価値を生み出す】 【漢字】	○それでも、言葉を ○漢字のまとめ ○話し合いを効果的に進めよう ○合意形成に向けて話し合おう
3 学 期	【書写】 【未来へ向かって】	○楷書・行書、書き初め ○温かいスープ（随筆） ○アラスカとの出会い（随筆） ○律儀な桜（随筆） ○わたしを束ねないで（詩） ○三年間の歩みを振り返ろう ○初日（詩）

3 評価方法

評価の観点	評価規準	評価方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ○語句・文法・古典・書写等についての理解を深めるとともに、知識を身に付けている。 ○中学3年までに学習した漢字が読め、ほぼ書けている。 	定期考査・小テスト ・漢字テスト・書写作品・ 暗唱テストなど
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の意見を適切な内容・方法で表現している。 ○相手の発言等を注意して聞き取っている。 ○話題や話の流れをとらえて発言している。 ○課題に応じて、自分の意見や考えや感じたことをまとめてわかりやすく表現している。 ○文章の内容を的確に読み取ることができる。 ○読み取った内容から、ものの見方や考え方を広げている。 	定期考査・発言・ スピーチ・聞き取りテスト ワークシート・意見文や 感想文・レポート 音読・暗唱テスト・ワーク シートなど
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ○授業の準備ができている。 ○私語等をせず、真剣に授業に取り組んでいる。 ○課題に意欲的に取り組んでいる。 ○提出物をきちんと仕上げ、提出している。 	授業態度・忘れ物・自己評 価・ワークシートなど

4 授業の取組についてのアドバイス

- ・忘れものがないようにし、授業前の休み時間に教材準備をする習慣を付けよう。
- ・黒板に書かれたことは、きちんとノートに写そう。
- ・朝学習に真剣に取り組もう。
- ・宿題や提出物は、必ず期限までに提出しよう。
- ・自分の言葉で考えをまとめ、積極的に表現し、他者へ伝えよう。
- ・友達をはじめ、身の回りの人の言葉や価値観から学び、伝え合う姿勢を大切にしよう。
- ・自分の心情や価値観の変化に気づき、言語化できるようにしよう。
- ・書き言葉と話し言葉をしっかりと区別し、丁寧かつ正確に文字や文章を書くことを心がけよう。

5 家庭学習の進め方についてのアドバイス

- ・漢字練習を継続して行おう。
- ・わからない言葉があったら辞書を引く習慣を身に付けよう。
- ・単元が終了したら、ワークの問題を解いて復習しよう（誤答やわからない問題は、必ず解決しよう）。

6 定期考査前の取組についてのアドバイス

- ・漢字は何回も書いて、正確に覚えよう。
- ・教科書の内容を理解しながら、何回も読もう。
- ・ノートやワークシートを見直したり、ワークを何回もやり直したりして、授業内容を理解しよう。

7 入試に向けたアドバイス

- ・漢字は中学で学ぶものを完全にマスターしましょう。それには、必ず何回も書いて覚えることです。
- ・文章をすらすらと読めるようにしましょう。理解していなければ、すらすらと読むことはできません。逆に、すらすら読めるようになると、理解も追いついてきます。
- ・毎日の時間の使い方、学習計画の立て方、効果的な学習方法を模索し、自分なりのやり方を身に付けていこう。友達とも、学習の工夫ややり方について情報交換して参考にするといいです。
- ・ワークや過去問を解くときに、問いに対する答え方に気を付けましょう。それには、問題文をよく読みましょう。
- ・過去の入試問題に取り組み、難易度や出題傾向を把握しておきましょう。その上で、まずは基礎を固めることが必要です。試験が近づいてきたら、本番と同じ形式で問題を解く練習をくり返しましょう。